

イエメンで看護支援へ

読んで
広がる
NIE

治安の不安定な
地域が多く、地雷
で手足をなくした
人に向き合うこと

中東・イエメンの病院で、
紛争でけがをした人たちの看護
や医療スタッフの支援をする
ため、沖縄赤十字病院の高尾
実千代看護師長(48)が派遣さ
れることになり、10日、同病
院で出発式が開かれた。
期間は来年1月末まで。高尾
さんが海外に派遣されるのは、
パキスタン、スーダン、パラオ
に続いて4度目。「次はもっと
できることがあるかもしれない
」との思いが活動につながっ
ているという。

赤十字病院 高尾さん 「私にできることを」

もあつた。高尾さんは「自分が
そこに生まれていたかもしれない。
今、私にできることはな
んだらうと考えた」と振り返
る。イエメンでは外科医療チ
ームの一員として、手当ての技
術を教えたりする。



同僚からエールを受ける高尾実千代さん
(前列左から2人目)＝10日、沖縄赤十
字病院